

受胎調節実地指導員認定講習開講科目一覧

講習科目	母体保護法施行規則 で定める時間数	授業科目	授業内容
総論	9	助産学概論	セクシャルリプロダクティブヘルス/ライツ、母子保健の現状、母体保護と受胎調節、母体保護の関連概念、母体保護法、人工妊娠中絶の現状と母体への影響
		健康教育技法	健康教育技法とは、受胎調節の意義と目的、医薬品・医療機器などの品質
		プレコンセプションケア	性（セクシュアリティ）と性行動
		助産管理Ⅰ	助産師及び助産業務に関連する法規と責任
受胎調節の基礎	5	ウイメンズヘルスケア	生殖の形態と機能、女性のライフサイクル各期の身体的特徴
受胎調節の指導	13	ウイメンズヘルスケア	女性のライフサイクル各期への支援
		健康教育技法	保健指導活動の技術、実際、避妊法について
		助産診断学Ⅳ	産褥期の特徴、家族計画指導
実習	10	臨地実習Ⅱ	継続事例に対して家族計画指導の立案・実施【注1】
		臨地実習Ⅳ	地域母子保健における家族計画指導の実際【注1】
討論	2	臨地実習Ⅱ	家族計画指導の評価【注2】
考査	1		各科目の考査【注3】

【注1】 科目等履修生は模型を使い学内で実習する

【注2】 科目等履修生は学内で実習後に討論する

【注3】 科目等履修生は受講科目すべてを秋学期に考査する